

6月の学級づくり【中学校版】

6月は、中体連や行事、体験的な活動が行われる、あるいは行事の準備を始める月です。

この活動を学級づくりに活かせるかどうか重要です。自分の学級の実態に合う目標を、具体的に評価できるものにするのが大切です。リーダーの子どもの悩みをしっかりと聞き援助しましょう。



学級で花を育てる，野菜を作る活動での工夫を

子どものねがいや活動のイメージを明確に

- ・開花や収穫の喜び、喜んでくれる人の心情等を予想したり、事前に野菜を味わったりする活動を位置付けるとよいでしょう。
- ・責任感をもった活動ができるように、グループごとに花壇や畑の場所を決めたり、当番活動の内容や順番を工夫したりしてみましょう。
- ・その道のプロに会って、よりよい栽培方法を聞いたり見たりすることも、工夫のひとつです。

子どもたちの自主的な活動に

- ・きれいな花壇を作ること、野菜を収穫することのみが目的になって、教師が管理することにならないよう、短学活で活動を振り返りましょう。
- ・黙々と作業をする子、ていねいな片付けをする子、一人でいる子を誘って活動する子等、子どものよさを見つけ、学級づくりにつなげましょう。

いよいよ中体連！

学級・学年で、場の位置づけを

大会前

中体連を間近に控え、学級独自の壮行会を開いてみてはいかがでしょうか。レギュラー以外の選手が、大会に臨む思いやレギュラーを支える思いを語る場を設定できれば、お互いに学びあうことが多くなります。

大会後

中体連の地区大会で惜しくも敗退した生徒は、自分の結果を受け入れることができず苦しみ、今までの生活で大きなエネルギーをかけてきた活動がもうできなくなってしまう寂しさを感じています。

心のけじめをつける場を設定しましょう。学級での報告会や、学年の仲間と一緒に自分たちが汗したグラウンドやコート、用具の整備をしたり、部室の大掃除を薦める等、節目をつくる機会が未来につながっていきます。

友だち、クラスのよさを感じ合おう、見つけ合おう 今日の良いところさがし

自分ではなかなか気がつかない自分の「いいところ」を、友だち同士で見つけ合う活動をご紹介します。きっと、ふだん気づかない「いいところ」が見つかります。それを発表し合うととても楽しい活動になります。

<方法>

生活グループごとに集まる。

カードの一番下に自分の名前（例：良男）を書く。

隣の人に、自分のカードを渡す。

カードを受け取った人は、一日の生活をふり返って、よしおさんのいいところを書く。

書いたら、内容が隠れるようにカードを折り曲げ、次の人に渡し、渡された人は良男さんのいいところを書く。

これを、カードの持ち主（良男さん）のところに返るまで繰り返す。

自分のカードが戻ってきたら、その紙を開いて黙って読む。

読んでみての感想、今の気持ちなどを発表し合う。

できるだけ具体的に書けるようにして、継続的に行いましょう。「人権教育指導資料集～一緒にいこう～より」

支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

～予定変更の受け入れが難しい生徒～

予定が変更されると活動の見通しがもちにくいですか？

急な予定変更は、個別に説明してみてもいいですか？

時間割変更の場合、事前予告してみてもいいですか？

時間割の変更などは、視覚的に確認できるように変更後の時間割を明示してみましょう。

クールダウンする場所と時間の確保を。

口頭による説明だけでは、活動のイメージがもちにくいですか？

文字や図、絵を使用して、活動内容を視覚的に伝えてみるのはどうですか？

新たな活動では、手順を箇条書きで。

いつも確認できるように予定の変更や活動の手順を生徒がノートに書く機会を。